



# 古都っ子だより

2021年9月10日号  
岡山市立古都小学校

＜心豊かにたくましく生きる児童の育成＞ 元気な子 やさしい子 考える子

## 2学期スタート より大きく成長を！

今年の夏は、毎日テレビに釘付けで、自分も選手のもりで熱く観戦していました。猛暑日が続く暑い夏でしたが、気分はさわやかで、力のわいてくる毎日でした。

日本で開催された東京 2020 オリンピックは、史上最高のメダル数獲得という日本選手の健闘ぶりに、たくさんの勇気と感動をもらいました。今回のオリンピック・パラリンピックは、コロナ感染のため1年間延期されましたが、その間、感染防止のため国際大会への参加もままならず、体調のピークを合わせるのは大変な努力が必要だったという話を聞いたことがあります。大会に出場するまでの努力はどれ程のものだったのか…。それらすべてを乗り越えて立つことができる大舞台ですから、やりきったあとの選手には努力を尽くした人にしかない美しい笑顔がありました。



近年は、子どもに限らず大人もそうですが、失敗を避けて通りたがり、泥まみれや汗まみれにならずに成功を手にしたいと願う風潮があります。私の世代が見ていた「巨人の星」や「アタック No.1」のようなスポ根アニメは、もうテレビでは見られなくなりました。このこと自体は悪いことではないのですが、個人的には、地道な努力や力いっぱいの挑戦、それにとまらぬ失敗や挫折は、子どもの頃にたくさん経験して欲しいと思っています。その失敗経験や挫折経験が、人に対する優しさとなって人間性をひとまわり大きくし、困難な状況に出会っても何かしら突破口を切り拓ける強さとなって自分自身を助けるとしています。失敗してもいいんだと思うこと自体、もしかしたら、子どもはもちろんのこと、保護者のみなさまにも難しいことかもしれませんが、子どもたちには、自分の知恵と努力で道を切り拓いていける、たくましい子どもに成長してほしいものです。



## 『働く』という字は…



2学期を迎えるにあたって、始業式で「『働く』の意味は…」という話をしました。

『働く』をよく見ると、「人」を表すニンベンの横に「動く」という字が組み合わせられています。つまり、「人」が「動く」から「働く」となっています。しかし、人が動いただけでは働くことにはなりません。「人」と「動く」の間に、「のために」という言葉が入れば、『働く』の意味が分かるような気がします。

この夏休み中、みなさんの中には、オリンピック・パラリンピックをテレビで応援をした人も多いと思いますが、試合の後のインタビューを聞いていると、いろんな選手が「たくさんの人の支えがあってオリンピックが行われていると実感しました。メダルをとってお返ししたかった。」という話をしていました。男子サッカーの選手の中には「前のオリンピックで4位だった（吉田）麻也さん、（酒井）宏樹さんに銅メダルを渡したかった」と、3位決定戦敗戦の後、泣き崩れて動けなかった選手が何人もいました。あらためて、オリンピック選手が頑張る力は「自分のため」ではなく、「応援してくれる人のため、仲間のため、コロナで元気をなくしている日本を元気づけるため」という、選手のみなさんの「働く」姿がありました。

この2学期、是非、みなさんの体や頭を働かせてください。みなさんの知恵と挑戦する心を「人のために」役立ててください。

2学期は約4ヶ月間あり、気候的にも過ごしやすく、勉強に運動に、それぞれの子もたちが持てる力を発揮して取り組める大変良い時期です。子どもたちが大きく成長できるよう教職員全員で取り組んでまいりますので、1学期同様ご理解・ご協力をお願いします。

## ～ 校内風景…こんなことがありました ～

### 【9/8 防災給食】

9月1日は「防災の日」。古都小学校では、災害によって給食が作れないことを想定し、災害時でも安心して食事ができるように「防災給食」を計画しました。昨年のカレ

ーに引き続き、今年のメニューは「救給コーンポタージュ」。一年生にとって、初めて食べる非常食でしたが、「とってもおいしー!!」と、大好評だったようです。

